

< 認定農業者の育成を実施している事例 >

○ 担い手育成等を基盤とした取り組み

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	岡山県久米郡久米南町 くめぐんくめなんちょう 下 しも 下 もみ			
協 定 面 積 32.0 ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲			
交 付 金 額 661万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50%)	役員報酬、研修会等		5 %
		共同利用機械等購入費		45 %
協定参加者	農業者 37人、非農業者 9人			

2. 取組に至る経緯

集落内における基幹的農作業は、従来、個々の農家で行ってきた。しかし、高齢化が進展するなかで将来的に基幹的農作業も困難となる農業者が増えることが予想されるため、前対策から協定に取り組み、集落内での話し合いから、定年退職者をオペレーターとして育成し、農作業機械の共同利用を推進するとともに、農作業受委託の推進により、認定農業者などの担い手育成を図ることとした。

3. 取組の内容

当集落には、転作作物の振興を目的とした機械利用組合があったが、それを基盤として水稲用機械（コンバイン、防除機等）の整備を行い機械の共同利用を拡大するとともに、定年退職者を中心としてＩターン非農家も巻き込んだオペレーターの育成を行い、水稲基幹作業の受託を行うまでの機能強化を図った。

また、農道・用水路やため池の草刈り・清掃は、自らの暮らす地域の環境保全として非農家や非対象農家９名を含めた地域ぐるみで取り組まれるようになった。

イノシシ等の獣害防止については、個別で実施していたものを各戸からの資材の持ち寄りで、団地毎でまとめて設置し共同管理することにより、効果を高めた。



イノシシ被害防止柵の設置



ため池の管理作業

[集落の将来像]

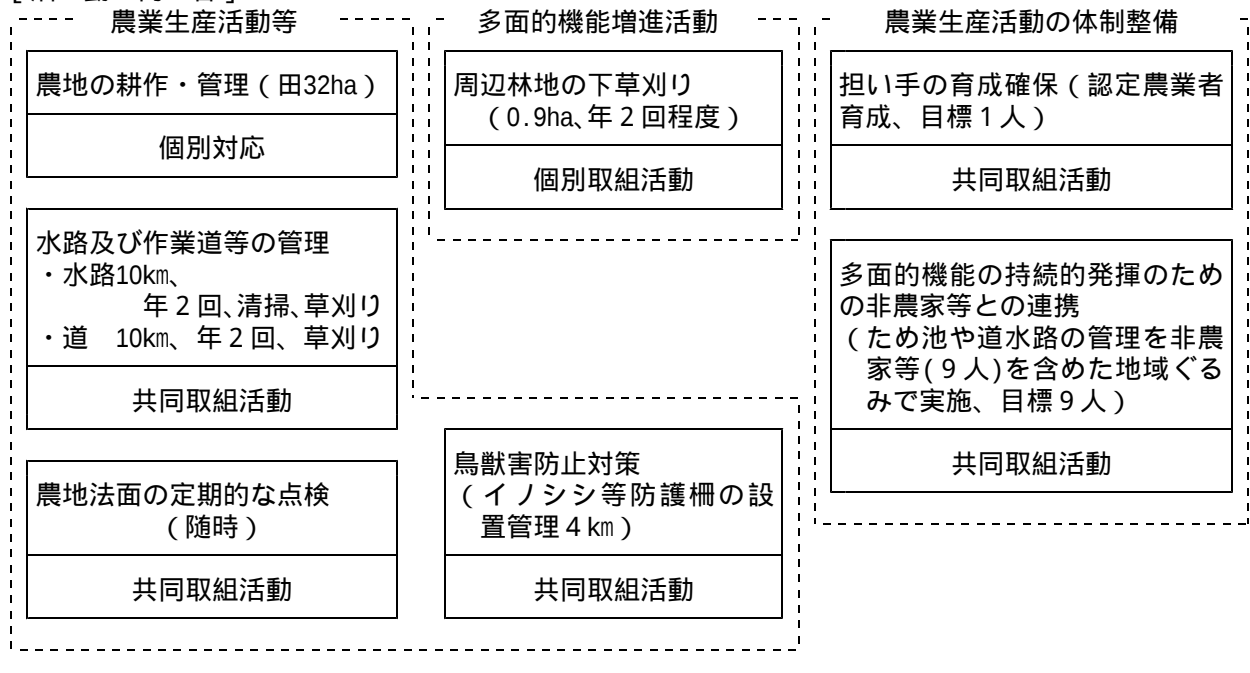
- ・ 水稻の基幹的農作業用機械の共同利用による生産コストの低減。
- ・ 集落内の農道、用水路、ため池の管理を非農家を含めた集落全体で行う。
- ・ 集落全体でイノシシ対策に取り組み、安心して農作物を栽培できる体制を整備する。



[将来像を実現するための活動目標]

- コンバイン・防除機等の共同利用の拡大による生産コストの低減
- 定年退職者・Ｉターン非農家の参加による集落共同活動の活性化
- 保有資材持ち寄りによる共同設置管理による効率的な鳥獣被害防止対策の実施

[活 動 内 容]



4．取組による変化と今後の課題等

機械の共同利用や農作業の受委託が進み、高齢化や担い手不在による耕作放棄地発生に一定の歯止めがかかり将来への不安の解消につながっている。

今後、一層の共同機械の利用拡大や農作業受委託・担い手への利用権設定による規模拡大により、地域農業の活性化が期待される。

[平成21年度までの主な成果]

- 水稻収穫作業及び農薬等防除作業における機械共同利用による営農の効率化・低コスト化（集落営農育成関連事業との連携でコンバイン等の導入 当初0ha、H21実績4ha）
- イノシシ被害防護柵の設置（当初0km、目標4km、H21実績4km）
- 農道及び水路の補修改良など（水路補修改良 0.5km）
- 認定農業者の育成（当初0人、目標1人、H21実績1人）
- 集落内農道・用水路・ため池等の管理を非農家等9名を含めて地域ぐるみで実施（当初0人、H21実績9人）